

# 後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌 Vol.52

発行/札幌大学後援会事務局 発行日/2019年3月31日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) http://blg.sapporo-u.ac.jp/koenkai

## 北海道学生リーグで春・秋の大会を連覇!! 欧州遠征にも選抜され、いまハンドボール部が熱い!!

札幌大学ハンドボール部が躍動しています。2018年北海道学生春季リーグ戦において創部30年にして初優勝。その勢いで秋季リーグでも優勝し、見事連覇を果たしました。近年の強さのワケに迫ります。



### 学生の自主性と監督の具体的な指導が強さの秘密!

優勝おめでとうございます。ここ数年の強さの背景には、何か秘密があるのでしょうか？

福田 ひとは私が各高校に outgoing、課外活動推薦枠を利用して、優秀な学生に入ってもらった強化策を講じたこと。もう一つは、大学の課外活動として、あくまでも教育の一環であることを踏まえ、学生が自発的に練習に参加し、勝つためにどのような練習をすればいいか、自主的に考えてもらうように努めた点ですね。押し付けられてるのではなく、能動的な取り組み姿勢が、社会では求められていますから、そこに力を入れた結果だと思います。



福田 大樹さん  
学生支援部学生支援課  
就職担当  
ハンドボール部監督



菜原 康希さん  
ハンドボール部キャプテン  
経済学専攻4年



塚本 崇斗さん  
経済学専攻4年



小柳 星斗さん  
現代教養専攻3年

監督に就任された当時の部は、どのような状態でしたか？

福田 当時は部員のモチベーションが低かった。学生一人ひとりと話し合いました。うるさく「一緒に頑張ろう」と訴えかけて、意識づけというか、モチベーションアップに力を入れましたね。

強くなった現在は、部員の皆さんが自主的に練習に参加されているわけですね。

菜原 私が入部した頃、チームは2部の最下位でしたが、大学の強化策により、多くの後輩が入部し、実践的な練習ができるようになりました。その結果が昨年度の優勝だと思います。部員のモチベーションがアップしたことも強さの要因ですが、ゲーム形式の実践的な練習では、監督がコートに入られて、具体的な指導をしてくださいました。その両面があったから強くなったと思います。

塚本 私のポジションは、フロウターというオフェンスの要なんですけど、まだまだ監督からのアドバイスをいただきたいと思う局面があります。自主性という意味では、試合中もメンバー同士で考えてゲームを組み立てられるようになりたいですね。

小柳 私の場合は、先ず体育館で練習できる環境に感謝しています。高校時代はグラウンドで練習していました。モチベーションが高いのは、恵まれた環境が整っていることですね。

優勝したことでチームから追われるチームになりました。今後はマークもきつくなるとは思いますが、どのような心構えで練習や試合に臨みたいですか？

菜原 優勝が決まった時、私は嬉しくて泣きました。しかし、優勝して自分たちが一番上にいると思わず、これまでやってきたことを継続したいですね。そういう意味ではゼロからはありませんが、新たなスタートだと考えています。

福田 菜原君の泣く姿を見て、私も思わず涙が止まらなくなりました。最後の試合で優勝が決する状況だったので、プレッシャーをはね除けての勝利は格別の感慨がありました。しかし、学生には喜ぶのは今日だけで、明日からまた切り替えていこうと言いました。

塚本 優勝したことに満足するのではなく、常にチャレンジャーでありたいですね。試合のない時期は個人で練習している。追われる立場になってプレッシャーを感じるのではなく、自分たちのやるべきことをやれば、強いチームであり続けることができると思います。

福田 塚本君は昨年度の大会で MVP に選ばれました。

塚本 だからこそ、今後もその荣誉に恥じないプレーをしようと思っています。

小柳 今回もメンバーの1人として参加しましたが、先輩たちの作り上げたチームを継承していくのが自分たちの責任だと感じています。優勝は先輩たちの実績なので、私たちは私たちに、今度はインカレで1勝するとか、さらに上を目指していきたいですね。

### 追われる立場でもチャレンジャーとして、欧州遠征に出発

このたびは、北海道学生選抜チームのメンバーに、菜原さんと塚本さんが選ばれました。

福田 北海道で取り組んでいる強化策で、

## 後援会から

札幌大学体育連合会が本年度創立50周年を迎えました。平成30年11月30日(金)、ANAクラウンプラザホテル札幌を会場に挙行されました記念祝賀会に猪狩会長が出席し祝辞を述べました。50周年を記念して発行の「羊群」に寄稿した挨拶をご紹介します。

### 札幌大学体育連合会創立50周年に寄せて

札幌大学後援会 会長 猪狩哲夫

札幌大学体育連合会の創立50周年、誠にありがとうございます。また、創立以来、幾多の困難を乗り越え50周年を迎えられたことは大変意義深いことであり、これまで体育連合会を支えてくださった関係者の皆さまに感謝と敬意を表します。

当時を顧みますと、私も札幌大学の一期生であり入学当時砂利道をバスで通っていたことが懐かし思い出されます。今のようなワンマンバスではなく車掌も乗っておりました。車通学の学生がほとんどいないので、すぐ満員になりました。物には1号館だけでした。体育館はなく先輩はいなく何もありませんでしたが、先生・職員・我々

学生の間に垣根はなく一緒に頑張って札幌大学を創り上げていくのだという、明るい希望・夢があり、まさしく「生気あふれる開拓者精神」が芽生えたように思われます。



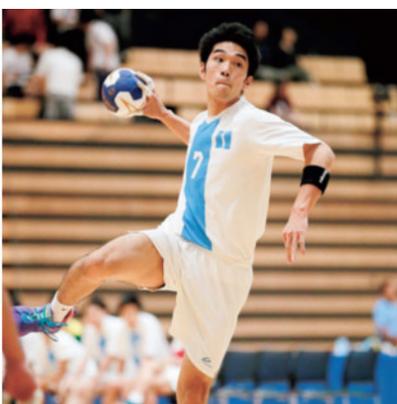
他大学を含め、選抜した学生を私が監督として引率して行くのですが、貴重な機会をいただいたことに感謝します。ハンドボールだけでなく、異文化交流という面で、世界の広さ、国際性を養ってもらったのが狙いです。今回はヨーロッパ(スペインとフランス)に遠征する予定です。

菜原 初の海外なので見聞を深めたいという希望と同時に、親善試合を通じて得た経験を、帰ってきたら国内の試合に生かしたいと思っています。欧州の体の大きな選手と試合して、どのくらい通じるか楽しみです。

塚本 海外の選手と試合するという経験は最初で最後かも知れません。実力の違いを思い知らされるとは思いますが、楽しみたいと思います。

小柳 今回は遠征に参加しませんが、今後は引き続き後輩として、個性の強い1、2年生部員を一つにまとめ、道内大会での連勝はもちろん、インカレの1勝を目指したいですね。

福田 どこに出しても恥ずかしくない人間を育成するという目標で指導しています。今回の遠征では、後援会様から多大な支援をいただきました。学生には保護者の皆さまに対する感謝を忘れないで、日々の生活を送ってほしいと思います。



## CONTENTS

1面  
ハンドボール部  
後援会から

2面  
札幌大学企業研究会  
就活学生インタビュー  
就職内定者レポート

3面  
留学生レポート  
卒業生の声

4面  
平成30年度課外活動への補助一覧  
キャンパスカレンダー  
2019年度保護者懇談会  
編集後記

仲間と一緒にバスケットボール部を創設し、倉島監督(当時は鬼の倉島といっていた)のもとで旭丘高校の体育館を借りて夜遅くまで汗を流しました。そんな環境で私の人間力の土台が創られたようで、いつも「札幌大学」バスケットボール部を誇りに思っております。

開校の1967年4月は出来立てホヤホヤの大学でしたが、サッカー、野球、体操ダンス、器械体操、バレーボールなどの活躍で道内の大学スポーツ界に一躍札幌大学の名をとどろかしたものです。そして、この活躍の効果もあり、仲間たちが多く入学してきました。

体育連合会は開校の翌年に部活動の統括・推進のため発足しました。大学の発展と共に成長を続け北海道の学生スポーツを牽引してきたと言っても過言ではありません。この背景には熱心に指導される先生、それに応えて熱い汗を流す部員、環境整備等で暖かくサポートする職員、後輩のために熱い応援と援助するOB・OGの皆さま、そして全体を円滑に進める連合会、これらが一体となってきたからこそ、この記念すべき50周年を迎えることに繋がったものと確信しております。

札幌大学スポーツ発展の推進役である体育連合会の役割は益々重要になって来ます。それぞれの課外活動は集団生活の中で自分を知り、仲間を知り、基本動作を学んで人間力を養うことが出来る大変重要な場です。今後は札幌大学の発展として連合会の発展の為にご尽力をいとわない姿勢を貫くこと、どうか後輩にいい形でバトンタッチをしてさらに発展されることを切に願っております。

後援会としましても、課外活動への援助を支援の柱として経年的に補助しておりますが、さらにできる限りのご協力を積極的にさせていただきます。

結び、今後とも札幌大学体育連合会の益々のご成長・ご発展を心より祈念し、お祝いの言葉といたします。

### 新たな環境へ果敢に挑戦

学生支援部 学生支援課 就職担当 笹川繁子係長

ここ数年で本学学生の間にも「売り手市場」という言葉が浸透し、新聞等で報道されている大学新卒内定率の高数値にも、さほど驚かない環境になりつつもあります。この機運に乗り初動が早い学生は、自分なりの「職業観」を見つけようと2・3年生からインターンシップに参加し、社会に対する視野を広げる活動を積極的に行っています。また、道外での就職活動数も年々増加しており、新たな環境へ果敢に挑戦する姿が目につくようになってきました。

しかし、効率だけを重視する学生も増え、数多くの企業と接触するよりも、同時進行で受験する企業を1・2社程度にとどめています。そのため、内定獲得ができない場合、新たな企業を探しに説明会参加し、振り出しに戻る姿も目立ってきました。

なかなか内定に繋がらない学生にこそ、早めに就職スタッフとの個人面談をお勧めしています。今までの活動内容を一緒に振り返りながら、「自分を知ること」「会社を知ること」を深め、「今まで知らなかったけど興味のある仕事」などの気付きに繋がります。面談を重ねることは一見効率が悪いように思えますが、徐々に気持ちや意欲が醸成し、流れ作業の就活から自らの意思で取り組む就活に切り替わり、内定に結びつくケースが増加します。

昨年度も個人面談と就職講座を重点的にを行い、内定率も90%を超えました。今年度も、昨年度とほぼ同じ数値で終えそうです。しかし内定がゴールではなく、社会に定着することが重要だと考えます。1年生から面談できますので、早くから自分のキャリアについて考えたいときは利用してください。我々は、就職情報サイトやSNSなど情報過多の環境に振り回されないよう、早期から意思・意欲を育む支援を行ってまいります。

卒業後もキャリアサポートセンターでの個人面談や既卒者可の求人票閲覧などが可能です。いつでも気軽に相談に来てくれることを切に願っております。



## 就職活動いよいよスタート 札幌大学「企業研究会」開催

今年の就職戦線もいよいよ本格化し始めました。本年度も札幌大学では校内で会社説明会を開催いたしました。120社あまりの企業の参加があり、多くの学生が熱心に話に聞き入っていました。

●開催日／2019年2月25日～28日 計4日間  
●場所／札幌大学2号館



歴史文化専攻3年  
若原 裕一郎さん

インターンシップで、就職・転職・進学情報を発信している大手広告会社に行き、3カ月という長期に渡って、現場を目の当たりに出来たことは、私にとって貴重な体験となりました。100人規模の学生を集客するイベントを、企画立案から当日の運営まで参加させていただき、その難しさや苦労とともに、終了後の充実感も味わうことができました。就活では企業に対し、この経験をアピールしたいですね。それというのも、私はサークル活動などをしてこなかったため、面接の際に聞かれることが多い、「学生時代に何をしましたか」といった質問に、これといった回答ができないところがありました。しかし、今後はインターンシップの経験を自己PRのネタとして話せると期待しています。

今後、就職活動を控えている後輩の皆さんには、今から体調管理に気を付けてほしいですね。社会人になると、時間の使い方は学生時代のようにはいきません。今のうちから、規則正しい生活習慣を整えておくことが大切だと思います。



経営学専攻3年  
大澤 瑠乃さん

### 就活直撃インタビュー

本格的な就職活動に突入していく本年。今はセミナーや合同企業説明会に出席し、情報収集に努めています。私は中学時代から大学生となった今も演劇をやっており、人と接することや大勢の前で話すことには抵抗がありません。そういった経験や特技を活かしたいので、職種としては営業職や総合職などが適性に合っているのかなと考え、それを軸に企業研究しています。社会人になっても、仕事はもちろん、プライベートも充実させたいと思っています。で、福利厚生面にも注視しています。休日もしっかりとれることは条件の一つですね。内定を獲得したあとに、「こんなはずじゃなかった」という後悔だけはしないように、全力で取り組んでいくつもりです。そのため、納得のいくまで企業研究をし、面接では企業側とたくさん話し合いをしたいと思っています。

今後、就職活動に取り組む後輩の皆さんにアドバイスするとしたら、今から新聞を読む習慣をつけるといいこと。1人の大人として、常に社会情勢は把握しておいてほしいですね。



英語専攻4年  
白石 一喜さん  
(内定先：ホクレン)

4年次の6月に第一希望であったホクレン農業協同組合連合会から内定を頂きました。その就職活動については、書かせていただきたいと思っています。3年生の11月頃から就職活動はスタートしました。最初、私は特に入社したい会社や、気になる業種も無かったので最初は学内で行われているセミナーや、学外の企業説明会に参加しました。色々なセミナーに参加していく中で、「北海道を盛り上げる会社」で働きたいと思うようになりました。

そこから情報解禁の3月まではインターンシップの参加やセミナーが無い日でも学校のパソコンで業界研究を行いました。そして情報解禁である3月1日を迎え本格的に就職活動はスタートしました。私の場合は、準硬式野球部の主務活動を行っていたのでバスの手配や部費の管理等を行っていたので就職活動は苦勞が少なかった。そんな状況の中でも、挫けずに部活動、就職活動に取り組めたのは大きな目標があったからです。

私の場合、様々なセミナーや企業の話や話を聞く中で「北海道に貢献できる会社で働き、世界中の人達に北海道を、知ってもらいたい町全体を活性化させたい」という思いを強く抱くようになりました。3月からの3ヶ月間は色々な学生や就職担当の方と出会う機会が多かったです。そこで私が一番感じたのは私が「井の中の蛙」状態だということです。私は3月までの準備期間学内のセミナーは勿論、学外のセミナーにも積極的に参加してきました。そのようなこともあり多少の自信を持って就職活動に挑みましたが、周りの学生はもっと早い段階で準備を進め、何社もエントリーをしている学生がほとんどでした。私はその瞬間、今まで気づき上げた自信は打ち下されました。なので、これから就職活動をしていく学生は今の現状に満足せず新しい目標に向かって取り組み、理想の自分になるためには今何をすべきか考えながら残りの学生生活を過ごしてみてください。

### 現状に満足せず、新しい目標を

また、私は学内で行われる「道新就職講座」にも参加しました。この講座は3年生の12月に行われるものであり、4年生から始まる就職活動に役立つ様々なことを教えてくれます。自己アピールや志望動機をどういう考えのもとに書いたらいいのか詳しく教えていただくことができ、とても就職活動の参考になったと思います。何をしたいのかわからない人はまずこの講座を受けることをお勧めします。

4月からは盛岡タイムス社で本格的に社会人としての新しい人生がスタートします。その生活の中でも大学で学んだことや経験を生かして頑張りたいと思っています。その社員の一員になれるようにしていきたいと思っています。



日本語・日本文化専攻4年  
高橋 瑞季さん  
(内定先：盛岡タイムス社事務職)

### 就職活動で大切なのは自己アピール

### 内定者レポート

私は高校の頃から目指していた「出版業に携わる職に就く」という夢を目標に、就職活動に励んできました。

まず、私は1年生からその目標を達成するために出版に関する経験を積んでおきたいと思いい、「Sweets」というサークルに入りました。Sweetsとは学内で発行しているフリップパーの製作に参加することができるサークルで、ネーミングや企画、取材及び編集に携わることが出来ます。そこで4年間、私は主に取材と原稿執筆を中心に活動してきました。

就職活動で大切なのは自己アピールだと思います。実際に私が就職活動をしてきた中でも、それは一番大切と言っても過言ではありませんでした。自分が目指しているところにもよりますが、就職活動では何十人、何百人ものライバルと競争をしていくこととなります。その中で競争を勝ち抜き、企業が取りたいと思うような人材になるためには、自分にはかな「何か」をアピールすることが大切になってきます。私のその「何か」は、Sweetsでの4年間の経験になりました。Sweetsでは自分が普段関わることのない学校の生徒や先生、サークルについて詳しく話を聞くことができます。また、自分一人では行くことになかったイベントや、映画の試写会などにも足を運ぶ機会があり、自分の見聞を広められました。原稿を書くという事や取材をするという実践的な経験の他に、自分を人間として成長させるような経験もできたと思います。

留学リポート

フィンランド・ラップランド大学へ

留学

英語専攻3年 門脇 輔さん

私は2年時の秋 semester にて、フィンランド・ラップランド大学で半年間勉強させていただきました。ラップランド大学にはアジア圏(日本、中国、台湾、香港、韓国など)からの留学生もいますが、主にヨーロッパ(ドイツ、イタリア、フランス、スイス、オランダなど)から勉強しに来ている留学生が多かったです。今振り返ると、国際色豊かな環境で生活していたのだと思います。

私がフィンランドに留学した目的は主に3つあります。1つ目は自分の英語力(特にリスニングとスピーキング)を向上させるためです。フィンランドの第一言語はフィンランド語ですが、生活するうえで英語で十分事足りるくらいにフィンランド人は英語が流暢です。留学中は日本人学生の数が少なかつたということもあり日常的に英語を用いていました。加えて、言語に関しては英語以外にも、フィンランド語やオランダ語、韓



各国の留学生たち



フラットメイトとの生活

国語を学ぶ機会がありました。たくさんの方の人の関わりが、広く言語に触れることが出来たことにつながったんだと思います。「Orbital skills」という授業は英会話能力の向上を図り、「English Phonetic and Pronunciation」では英語の発音について学ぶことが出来ました。

2つ目はフィンランドの教育制度や教育の在り方を学ぶためです。卒業後は北海道教育大学大学院への進学をし、その後英語教員として働こうと思っています。日本だけではなく、違う国の教育にも目を向けて真摯に学びたいと思つたことがフィンランドの留学をしようと考えた最大の理由です。フィンランドは国際学力比較調査「PIISA」で毎回上位に位置しており、学力世界一とも呼ばれています。この事実からフィンランド教育のシステムの勉強や教育実習にトライしてみたいという気持ち

を強く抱くようになりました。実際にラップランド大学にて教育に関する授業を履修し、現地の小学校で20回にわたる授業観察と6回英語の授業を担当しました。授業担当クラスは小学校6年生で、もちろん「英語」で英語を教えました。自分にとっては大きな挑戦でしたが、現場の先生方のサポートや小生が楽しそうに参加してくれたおかげでなんとか終えることが出

来ました。4年次に教育実習を控えている私にとって素晴らしい経験をすることができました。

3つ目は現地の文化や暮らしに興味を持ったからです。オーロラ鑑賞(私はできませんでした)やフィンランド発祥のサウナのように、現地でしか体験することができないことをやりたいと思つました。友人とオーロラを見るために何度か森の中をハイキングのよくな感覚で鑑賞するのに最適な場所を探したり、現地の友達の家にお酒を飲みながら入る等という貴重な経験をすることが出来ました。サンタクロースの出身地としても有名な国なので、クリスマスは今までの中で一番伝統的なものを感じたように思えます。また、日本人学生と一緒にフィンランドの各地を旅行しました。

たった半年という短い期間でしたが、その中でたくさんの方の友人をつくり、楽しみ、本当に充実した日々を作ることが出来ました。日本への帰国からとくに1年が経過しましたが、今でも当時の友人と連絡を取り合っています。この留学が私の大学院進学という目標を作ってくれました。今後はこの目標の実現に向けて努力を惜しまず頑張りたいと思います。



ラップランド大学のキャンパス

毎回ご好評いただいている卒業生インタビュー。今回はフリーアナウンサーとして幅広く活躍されている『奈良愛美さん』にご登場いただきました。私たちの抱くイメージでは華やかな世界を想像しがちですが、お話をうかがうと、その裏には大変な努力精進がありました。そんな奈良さんにこれまでの歩み、そしてこれからについて語っていただきました。

卒業生の声

さまざまな経験を通し、自分のページを増やしてほしいですね

札幌大入学前からアナウンサー志望でした!

札幌大学女子短期大学部で学びました。思い起こしてみると、学祭や卒業旅行など、友だちと過ごした楽しい思い出ばかりです。コミュニケーション能力の養成という面で、あの頃の経験が今の仕事に生きていることは間違いありません。私の職業はフリーアナウンサーです。現在、仕事の場はテレビ・ラジオが中心ですが、それだけにとどまりません。地方自治体や企業団体の各種式典やイベント、結婚式などにおける司会業も大切な仕事の一つです。

早くからアナウンサーを志していた私は、高校時代は放送部に所属し、短大時代には街頭放送の会社でナレーションの経験も積ませていただきました。卒業後、札幌への編入学を希望していたのですが、願い叶わず、急遽就職活動することになったんです。しかし、各放送局では新卒が条件でしたので、既卒者扱いになる私は、希望が閉ざされてしまいました。そんな時、札幌のサークルの先輩から、フリーアナウンサーの事務所オーディションがあることを教えられ、すぐに応募。合格して、フリーアナウンサーの第一歩を踏み出すことになりました。

努力もしましたが、出会いと幸運から道が開けました!

事務所ではフリーアナウンサー



フリーアナウンサー 奈良 愛美さん (札幌大学女子短期大学部 平成4年度卒業)

人との出会い、交流の中から多くの幸運に恵まれました。私は、周囲に対する感謝が最も大切だと感じています。大学時代の友人とは今でも頻りに連絡を取り合っています。近況を報告し合う仲です。また、ラジオが好きで、私の良き理解者でもある両

周囲に対する感謝を忘れず、豊かなキャンパスライフを!

1年半アシスタントを務めさせていただき、番組を卒業しました。最後にプロデューサーから「原稿を読めるようになっておけ」とアドバイスされ、時間を見つけてアナウンサースキル向上に励みました。その積み重ねで、現在に至るまでさまざまな番組に携わらせていただいています。本当にありがたいことです。

親。そしてもちろん、心の支えであり、掛け替えのない存在である夫と子ども。さらに仕事で出会った多くの人たち。その全てに感謝しています。だからこそ、アナウンサーという仕事に限らず、これから社会人としての船出が待っている皆さんにも、人との出会いを大切にしてほしいと切に願っています。より多くの経験を通して、自分のページを増やしてほしいですね。それが将来、必ず役に立つ時が来るでしょう。



OBとして、後輩の皆さんにメッセージ

札幌大学には、日頃の講義やゼミ、サークル活動やボランティア、さらには留学制度等々、貴重な経験をえられるさまざまな機会が設けられています。それらを利用しないなんて、もったいないですよ。私が在学していた当時と比べると、施設も格段に充実しましたね。学生の夢を応援してくれる学び舎ですから、自らの可能性を信じて、豊かなキャンパスライフを過ごしてほしいですね。

## 平成30年度 課外活動への補助一覧

平成31年2月現在

交付団体名	大会名	補助対象期間	支出金額
空手道部	第62回全日本学生空手道選手権大会	6/23～6/24	12,000
弓道部	第66回全日本学生弓道選手権大会 第49回全日本学生弓道遠的選手権大会	8/12～8/17	234,000
剣道部	第66回全日本学生剣道優勝大会	10/26～10/29	120,000
	第37回全日本女子学生剣道優勝大会	11/9～11/12	108,000
硬式庭球部	全日本学生テニス選手権大会(男子86回/女子62回)	8/11～8/15	45,000
	平成30年度全日本学生室内テニス選手権大会	11/23～11/28	33,000
ゴルフ部	2018年度(第72回)日本学生ゴルフ選手権競技	8/20～8/24	15,000
サッカー部	第54回全国社会人サッカー選手権大会	10/19～10/21	162,000
	平成30年度第67回全日本大学サッカー選手権大会	12/10～12/13	300,000
女子サッカー部	第27回全日本大学女子サッカー選手権大会	12/22～12/25	288,000
	第19回大学女子サッカー地域対抗戦2019	2/24～2/28	90,000
柔道部	平成30年度全日本学生柔道優勝大会	6/22～6/24	114,000
	平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	9/7～9/9	9,000
	平成30年度全日本学生柔道体重別選手権大会	9/28～9/30	117,000
準硬式野球部	第70回全日本大学準硬式野球選手権大会	8/18～8/22	342,000
	第36回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	11/8～11/12	60,000
スケート部	第91回日本学生氷上競技選手権大会(ホッケー部門)	12/24～12/27	192,000
卓球部	第88回全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部	7/12～7/14	144,000
	第85回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)	10/25～10/27	81,000
	平成30年度全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)	1/15～1/17	9,000
男子バレーボール部	第37回東日本バレーボール大学選手権大会	6/20～6/23	228,000
	第71回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 ミキブルーンスーパーカレッジバレー2018	11/26～11/28	189,000
男女バドミントン部	第6回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会	8/9～8/11	36,000
女子バドミントン部	第69回全日本学生バドミントン選手権大会	10/12～10/16	150,000
ハンドボール部	平成30年度東日本学生ハンドボール選手権大会	8/15～8/18	288,000
	平成30年度全日本学生ハンドボール選手権大会	11/9～11/11	171,000
	北海道学生ハンドボール選抜チーム第7回欧州遠征	2/21～3/2	216,000
ラグビー部	第69回全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会	1/1～1/3	270,000
陸上競技部	第40回北日本学生陸上競技対校選手権大会	6/28～7/3	360,000
	第87回日本学生陸上競技対校選手権大会	9/5～9/9	90,000
チアリーディング部	第30回全日本学生チアリーディング選手権大会	12/14～12/16	27,000
震災ボランティア	平成30年度震災ボランティア	8/30～9/3	75,000
	厚真町震災ボランティア	9/19～9/21 9/26～9/28	51,000
稲邊 雄大	第52回宮様チャリティーボウリング大会	11/23～11/26	12,000
	小計		4,638,000

交付団体名	文化系サークル補助金	補助対象期間	支出金額
アマチュア無線部	道内のアマチュア無線家との交流		50,000
映画研究会	自主制作映画の撮影		50,000
写真部	卒業記念写真展		50,000
アピーロード音楽研究部	合同ライブ		50,000
料理同好会	地域のお祭りに参加		50,000
アニメーション部	アニメーション制作		50,000
文芸部	ポストカードを作成		50,000
ジャズ研究会	合宿と定期演奏会		50,000
自然保護研究会	意見交換会の記録		50,000
	小計		450,000
補助金支出合計			5,088,000

### 編集後記

3月になり、日ごとに春の訪れを感じられるようになりました。進学、卒業、就職の皆様には心よりお祝い申し上げます。今年は、元号が平成から新元号へ変わり4月には発表があるようです。インターネット、AI(人工知能)、キャッシュレス、2020年東京オリンピックに2025年大阪・関西万博、社会は急速に変化していきます。昭和生まれの人は、「昔の人」と呼ばれないか心配です(年代にもよりますが…)。

最近、「脳トレ」という言葉をよく耳にします。少し前の事ですがTVで脳トレの番組があり、北海道の村を8ヶ所答えるものでした。「8ヶ所も村があるの?」私の心の声、家族でしばし頭をしばり頑張ってみました。7ヶ所しか挙げられませんでした。本当に脳を活性化することの必要性を実感しました。ちなみに、現在、15の村が北海道にあります。興味がありましたら是非挑戦してみてください。(Ⓜインターネットでの検索は、最終手段にしてください。)

後援会だより52号は、国内外で活躍する課外活動、フィンランド留学レポート、3・4年次生の就職活動成果、放送局で働く卒業生インタビュー等々、盛沢山にできあがり、取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(M. M)

## キャンパスカレンダー

2019.4～2020.3

- 4** 1日(月) 春学期ガイダンス・オリエンテーション(～4/4)  
5日(金) 春学期授業(～8/7)  
6日(土) 入学式
- 5** 6日(月) 開学記念日  
11日(土) 第1回オープンキャンパス
- 6** 21日(金) 大学祭(～6/24)  
23日(日) 第2回オープンキャンパス(大学祭同時開催)
- 7** 31日(水) 春学期補講日
- 8** 4日(日) 第3回オープンキャンパス  
8日(木) 夏期休業(～9/18)
- 9** 2日(月) 春学期卒業発表  
9日(月) 秋学期集中講義(～9/14)  
19日(木) 秋学期ガイダンス・オリエンテーション(～9/20)  
21日(土) 秋学期授業(～2/3)  
21日(土) 春学期卒業証書・学位記授与式  
28日(土) 第4回オープンキャンパス
- 10** 4日(金) スペシャルデイズ(～10/6)  
19日(土) 課外活動・アクションプログラム特別推薦入学試験10月日程
- 11** 23日(土) 推薦・特別入学試験(～11/24)自己推薦特別入学試験A日程  
課外活動推薦特別入学試験A日程(～11/24)
- 12** 14日(土) 自己推薦特別入学試験B日程  
課外活動推薦特別入学試験B日程  
24日(火) 冬期休業(～1/5)
- 1** 18日(土) 大学入試センター試験(～1/19)  
22日(水) 秋学期補講日(～1/23)
- 2** 5日(水) 一般入学試験(A日程)
- 3** 2日(月) 秋学期卒業発表  
6日(金) 一般入学試験(B日程)  
7日(土) 自己推薦特別入学試験C日程  
課外活動推薦特別入学試験C日程  
14日(土) 第5回オープンキャンパス  
20日(金) 秋学期卒業証書・学位記授与式  
23日(月) 自己推薦特別入学試験D日程



入学式



オープンキャンパス



オープンキャンパス



卒業式

## 2019年度 札幌大学保護者懇談会

保護者懇談会は、学生の就職状況、修学状況、学生生活等についてご説明することにより、大学へのご理解を深めていただくことを目的に、札幌会場をはじめ、道内7会場及び青森において開催いたします。

改めて開催案内をお送りいたしますので、大学における様々な施策・活動へのご理解をいただくため、是非ともご出席くださいますようお願いいたします。



保護者懇談会

開催地	実施会場	開催月日
札幌	札幌大学	6 / 1 (土)
北見	ホテルロイヤル北見	8 / 31 (土)
旭川	アートホテル旭川	9 / 1 (日)
釧路	ANA クラウンプラザホテル釧路	9 / 7 (土)
帯広	ホテルグランテラス帯広	9 / 8 (日)
札幌	札幌大学	9 / 14 (土)
青森	ホテル JAL シティ青森	9 / 22 (日)
函館	フォーポイントバイシェラトン函館	9 / 23 (月・祝)
苫小牧	グランドホテルニュー王子	9 / 29 (日)